

おかげさま 庭月観音 ありがとう

てん くう あ ゆう
天空明かりの夕べ

～参道・観音堂をライトアップ～

お観音さまの導きの光

～灯ろう流しと同時開催～

8/18 午後6時～午後8時(拝観無料)

庭月観音は、環境に配慮し、照明機材に太陽光発電を多く使用しております。そのため、雨天の場合は、光量が低下する場合がございます。ご承知おき願います。

主催：庭月観音法灯護持会

問合せ先：0233-55-2343

※写真はイメージです

～お盆とは～

お盆とは、ご先祖様の霊を家にお迎えする行事のことです。

日本では古来より真夏にご先祖様を供養する風習、祖霊信仰があったとされています。この祖霊信仰と仏教の盂蘭盆会うらぼんえという行事が合体・習合し、現在のお盆が誕生しました。

～お盆の準備～

お盆では、ご先祖様の霊が、あの世から帰って来ます。私たちは、ご先祖様に対して、どこに自分の家があるか知らせるため「迎え火」として、火を焚いたり家紋入りの提灯を灯したりして、ご先祖様に家の場所を知らせます。

次に、ご先祖様が、この世に帰ってくるための移動手段として、ナスで牛を、キュウリで馬を作ります。

そして、それらを精霊棚というお盆のためだけの特別な棚に設置して、お迎えします。

～たなぎょう棚経～

お坊さんから精霊棚でお経を読んで頂く「棚経」を行い、ご先祖様の霊を祀ります。その際は、家族・親族でともに拝み、感謝の念をお伝えします。

～送り火～

お盆の最後に、ご先祖様が無事にあの世へ帰れるよう焚く炎が、「送り火」です。その送り火として、京都の五山の送り火や、全国で行われる灯ろう流しなどがあります。

～お盆という日本の文化～

日本のお盆は、日本古来の祖霊信仰と仏教の盂蘭盆会が融合した、日本独自の貴重な文化です。そして、何より皆が実家に里帰りして、親族一同が集まる貴重な機会でもあります。

私たちは、忙しい日常のなか、何かきっかけが無ければ、実家に帰って、家族や親戚・友人に再会する機会を逸してしまうものです。お盆という文化と、ご先祖様との出会い、そしてあなたの信仰心が、人生において貴重な体験を生み出していると言えるでしょう。

日本の大切な文化、お盆、これからも末永く続くよう、祈りたいものです

ご先祖様の霊が
庭月の灯ろうに乗って

極楽浄土にお還りになる様子を
どうぞご覧ください。
合掌



シリーズ
お盆と灯ろう流し



お盆とは
そもそも、お盆
って何???



灯ろう流しとは
全国各地・庭月観音の
灯ろう流しとは?